

横浜市老人福祉センター 泉寿荘 運営委員会報告

<http://senjyusou.la.coocan.jp/>

泉寿荘の今年度第1回運営委員会が6月9日(木)に同荘会議室で開催、参加しましたので、報告します。

冒頭、泉寿荘を管理運営している「NPO 中川コミュニティグループ」理事長の大貫芳夫氏は体調不良のため辞任され、後任に小泉正彦氏(中川連合自治会会長)が就任されることとなったことが発表された。

昨年度事業・予決算・監査、及び今年度事業計画・予算の各報告は、それぞれ承認されました。

昨年度の当施設利用者は、個人4,883名(前年比 154%)、団体 18,101名(同 121%)、合計 21,263名(同 126%)と増加していますが、コロナ禍は継続し、特に8、9月の自粛要請の影響で、1昨年には及ばない状況が続いています。また、泉区在住以外の利用者がゼロとなっています。

男女別では、男9,986名、女16,728名と女性が62.8%を占めています。部屋別利用率では、運動系の機能回復訓練室は高く、調理室は殆ど使われなかった状況。

開設以来の設備では老朽化が激しく、利用者減の機会に娛樂室床改修、空調加湿器修理、機械室排風機修理を行った。

今年度の事業計画として、コロナ禍が続き、運動不足から、特に高齢者の体調悪化防止にため、横浜市の方針「介護予防事業の推進」に応え、自主事業として、①歩く脳トレ・スクエアステップ、②座って出来るズンバ・ゴールド、③笑顔で筋トレ、④ポジティブ・エイジング体操、⑤そろばんで脳トレ、⑥姿勢を確認！体幹を鍛えよう！」などが新規に計画された。また、コロナ禍で中止が続いた泉寿荘最大のイベント「せんじゅまつり」(利用者の作品展、演芸・実技発表、模擬店、健康チェックなど)も、11月に実施する計画となっている。

横浜市は、老人福祉法(国及び地方公共団体は、老人の福祉を増進する責務を有する)に基づき、市内18区に「老人福祉センター」を設置、泉区は「泉寿荘」がその施設。市内在住の60歳以上の方及び付添者は無料で利用でき、高齢者の健康増進や教養向上を目的とすると共に、趣味や娛樂の機会を総合的に提供しています。

その運営を円滑に推進するため、泉区全体の組織・団体以外に、当施設近隣の中川、緑園、新橋、白百合連合自治体と近隣の学校、スポーツセンターのほか、当施設利用者代表を運営委員としています。

当運営委員メンバー出身母体は、泉区連合自治会町内会、泉区シニアクラブ連合会、泉区女性団体連絡協議会、上記4連合自治会、泉スポーツセンター、西が岡小学校、当施設利用者代表、地区青少年指導員協議会、地区スポーツ推進委員協議会、地区保健活動推進委員会となっています。

昨年度から2年間 緑園地域代表の当運営委員

緑園六丁目 江尻哲二

泉寿荘の運営委員名簿では「泉区災害ボランティア連絡会副代表」